

錦江に生きる

にじゅうごにん目

菖蒲 隆 さん

(鳥浜自治会)



▲仕事に打ち込む隆さんの眼は真剣そのもの



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。
第25回目は、鳥浜自治会の菖蒲隆さんです。

指定された場所を訪ねると、腰に道具袋を下げ、耳に鉛筆を挟んだ菖蒲隆さんが出迎えてくれた。そう、今も昔も変わらない「大工さん」のイメージそのままだ。「まだまだ見習いですけどね」と大工3年目の隆さんは照れる。隆さんは、高校を卒業して土木関係の仕事をしてきたが、なんとなく違和感があったという。その違和感の原因は、現在、建築士をしている父・久志さんの姿だったという。そのことに気付いた隆さんは、久志さんと同じ建設会社で大工見習いとして修行の道を選んだ。では、今の仕事はかなり楽しいのでは？と質問すると「楽しいというよりは…。」と考え込んだ。楽しいというよりは？と聞き返すと、「家族を守る為に、早く一人前になりたくて必死なんです！」と握りこぶしに力を込めた。実は隆さん、生涯の伴侶を得、かわいい愛娘も誕生したばかり。「本当は一人前になってからプロポーズした方が良かったのかもしれないですが…、半人前の自分と一緒に生きてくれた妻と生まれたばかりの赤ちゃんの為に一日

も早く一人前になりたいです。」と何度も繰り返した。

隆さん曰く、独身時代は地域行事などもスポーツ大会のみの参加だったという。「親に甘えてたんでしょね。地域行事なども親にまかせっさりだった。でも、これからは一家の主として地域行事などにも積極的に参加し、親へも、世話になるだけじゃなく、今度は自分が親の負担を軽くしていきたい。」と自分に言い聞かせるように話した。少し間をおいて「今でも、まだまだ迷惑かけてますけど…。」と坊主頭を撫でた。

最後に一言お願いしますと、「まだまだ半人前ですけど…、でも、俺、やりますよ！」その一言に、隆さんの熱い想いすべてが込められていた。

【師匠より一言】

一日も早く一人前になれるよう頑張れ！すべては自分の気持ち次第！

おまけ：プロ野球の助っ人外国人のような風貌の隆さんは野球チームの仲間から「ボブ」「マルチネス」と呼ばれているらしい…。

編集後記

●そろそろ梅雨入りし、いよいよ台風シーズン到来です。本号でも特集を組みましたが、「転ばぬ先の杖」として台風。災害対策には万全を期しましょう。

●「過剰」新型インフルエンザの対応について海外では日本の過剰反応をニュースで流していると聞きました。また、日本の過剰反応はマスメディアの過剰報道、加熱報道によるものだ、とも耳にしました。果たして、生命に関わるウイルスの対策として今回の日本の反応は過剰だったのか？広報マンとして、報道・広報のあり方を今一度見つめなおす必要があると感じた、自意識過剰な私でした…。

●「気になる一枚」の答え。鉄塔の上部付近の風速を計るためのもので、一基に二つずつ付いています。これは、台風や突風などの時にすばやく対応したり、危険を予測して対策を取れるように付いているもので、安全面で非常に重要な役割を果たしています。気付きにくいですが、一度目に付くと、結構気になってしまいます。

■発行 錦江町役場
■編集 企画課
〒893-2392
鹿児島県肝属郡錦江町城元963
☎0994-22-3032
FAX 0994-22-1951
■錦江町ホームページアドレス
<http://www.town.kinko.lg.jp>